## 利用に当たって

この結果は、平成 26 年 7 月 1 日を基準日として実施された「平成 26 年経済センサスー基礎調査」(調査の概要は  $115\sim118$  ページ参照)のうち、平成 28 年 2 月までに総務省から公表された確報集計をもとに、宮城県分についてまとめたものです。

全国及び各都道府県・市区町村の結果など、総務省から公表されたすべての調査結果は、同省統計局のホームページ(http://www.stat.go.jp/)からご覧になれます。また、平成28年3月以降に公表される「確報集計」の一部及び「企業に関する名寄せ集計」については、同ホームページをご覧ください。

- ・ 売上(収入)金額は平成25年1年間,売上(収入)金額以外の事項(経営組織,従業者数等)は平成26年7月1日現在の数値である。
- · 売上(収入)金額については、必要な事項の数値が得られた事業所(企業等)を対象として 集計した。
- · 売上(収入)金額は、以下の産業においては、事業所単位の把握ができないため、全産業に係る集計は企業等に関する集計で行いました。
  - ※「建設業」,「電気・ガス・熱供給・水道業」,「通信業」,「放送業」,「映像・音声・文字情報制作業」,「運輸業,郵便業」,「金融業,保険業」,「学校教育」,「郵便局」,「政治・経済・文化団体」及び「宗教」
- ・ 調査票の欠測値や記入内容の矛盾などについて精査し、平成 24 年経済センサスー活動調査等を基に補足訂正を行った上で結果表として集計した。
- ・ 各項目の数値は、単位未満を四捨五入しているため、内訳の計と合計が一致しない場合がある。
- ・ 該当数字がないもの及び分母が0のため計算できないものなどは「一」とした。また、増減は、数値がマイナスのものは「 $\triangle$ 」とした。
- ・ 各表, 図中,「平成 21 年」は「平成 21 年経済センサスー基礎調査(H21.7.1)」,「平成 24 年」は「平成 24 年経済センサスー活動調査(H24.2.1)」,「平成 26 年」は「平成 26 年経済センサスー基礎調査(H26.7.1)」の調査結果である。
- · 「1km当たり」算出に用いた面積は、国土交通省国土地理院「平成 25 年全国都道府県市区町 村別面積調」による。

・ 「事業所・企業統計調査」結果と比較する場合の留意事項

経済センサス-基礎調査は我が国の事業所・企業を対象に、平成 21 年に新しく創設した調査であるため、事業所・企業統計調査(平成 18 年まで実施)と調査の対象は同様であるが、調査手法が以下の点において異なることから、平成 18 年事業所・企業統計調査との差数が全て増加・減少を示すものではない。

- ○商業・法人登記等の行政記録の活用
- ○会社(外国の会社を除く),会社以外の法人及び個人経営の事業所の本社等において,当該本 社等の事業主が当該支社等の分も一括して報告する「本社等一括調査」の導入 等